広報
さめがわ
昭和49年
6月号
No.247
編集兼発行
鮫川村総務課
塙町 佐藤印刷所



今年も18年目の納税完納を

毎年6月には恒例の納税組長大会が開かれます。この会は村の広報と広聴をかねた歴史ある行事で、納税完納の長い実績と深い関連があります。

今年も6月10日百数十名の納税組長さんが殆んど出席され、公民館広間もあふれる程の盛況でした。

先づ石田村長から今年度村政の重点事項と、村税の課税方法について説明があり、高木定典薄ケ久保組長さんが議長となり議事はテキパキと進められました。村の提出事項に質疑や要望も出て、適切な答弁があり、今年も18年目の納税完納を実現しようということで、正午散会になりました。

7月7日〔午前7時～午後7時〕

参議院議員 選挙 投票日

今月の人口

（6月1日 現在）

人口	6,130	（－2）
男	3,072	（－4）
女	3,058	（＋2）
世帯	1,195	（0）



今年の消防幹部大会は6月7日棚倉町中央公民館を会場とし、郡内幹部団員400名が一堂に集つて開かれ、消防施設整備費の国、県補助増額の要望などを決議し、盛会裡に終了しました。

またこの席上、大河内平第1分団長は永年勤続団員として知事表彰を受け、その他優良分団や団員の表彰がありました。

おめでた

五月

蕨平星恵 父星宗一
西野内 石井久美子 〃石井久夫
大石草 岡部貴史 〃岡部光次
青生野 森田好夫 〃森田敏男

※ ※ ※

おくやみ

五月 世帯主

赤柴 関根武63才関根彦孝
中沢 根本ハルミ0才根本幸一
前田 金沢次男52才金沢ツネヨ
西野内 関根喜勇84才関根一郎
鍛治平 石井アイ60才根本勇
仁田 矢吹トリ77才矢吹健治
岩野草 根本千歳72才根本弘

お知らせ (38)

阿武隈山系縦貫国道の構想

村長 石田卯子八

阿武隈山系地域の経済的、社会的開発のおくれた原因としてあげられるものの一に、交通機関の未整備ということがあります。

それで私たちが昭和四〇年に初めて山系開発の促進を目的とする関係地域の協議会をつくつた時に目標としてあげたのは、先づこの地域の産業開発と、縦貫道路をつくることでありました。

それが一〇年目に入つた現在農業開発は拠点開発の目途がつき広域農業開発事業という制度で、国の開発公団が実施設計、事業実施という段階に入ることになつたわけであります。

縦貫道路については、その当時この広域に及ぶ大規模な道路を一挙に開く制度はないということでそれぞれの町村が、或は町村道で或は林道などで、国県の助成をうけながら開設を進めてきました。

県もまた所管県道の改良や主要地方道の昇格、最近は一部町村道の県道編入を行うなどして、阿武隈全域を南北に貫く道路は、一部未開発の部分を除き、ツギハギながらも、道が開けたという状態になつたのであります。

しかし本格的な性格と機能をもつ縦貫道路にはなつていないのでこの際、この路線の国道昇格を期して運動を行うため、阿武隈山系縦貫国道建設期成会を、関係町村長で発足させることになりました

もし、本県中通りの国道四号線浜通りの国道六号線の中間阿武隈丘陵地帯を縦貫国道が貫くことになれば、眠れる未利用の資源は活用され、住民の生産、生活の様相に重大な変化をもたらすことは想像に難くないのであります。

只今要望しているこの路線の構想は、北は宮城県の岩沼を基点として、丸森町を通過し、本県は梁川、霊山、月館、川俣、東和、岩代、船引、大越、滝根、小野、平田の各町村を経て、東白川地内は古殿、鮫川、塙、矢祭を通つて茨城県に入る線を考えており、茨城県は遠く簗波学園都市にもつなごうという雄大なものであります

縦貫道路はどこを通るのか―というお尋ねがよく出ますが、どの地点を通ることになるかはこれから相当の年月と、紆余曲折を経て詰められることで、今後政治勢力を結集して希望の路線にして行く努力をしなければなりません。

特に県北から県中部にかけては既に主要地方道に編入されているので、国道昇格の要件は一応揃つていると見られるが、南部地区はまだ一般県道あり、町村道あり、一部林道、未開発地区もあるという状態で、先づこの立ちおくれの解消に全力を傾注しなければならないのであります。

関係町村の一層の協力と努力を期待したいものです。

川をきれいに

緑したたる山々・きれいな川の流れ・そして清浄な空気、それはだれしもが望んでいる美わしき自然環境です。

川にゴミなどを捨てたりしないようお互に注意し合い、私たちの手で美しいふるさとの自然を守ろうではありませんか。

近頃は、ゴミばかりでなく、家畜のふん尿で川が汚染されて困るという苦情があり、残念なことです。

このような生活公害については廃棄物の処理及び清掃に関する法律（同じく村条例）や水質汚濁防止法、悪臭防止法及び福島県生活環境保全条例福島県公害等防止条例等により、きびしく指導又は取締が行なわれることになつています。住民の皆様の良識あるご協力をお願いします。

老後にさく花
国民年金!!

七月は、国民年金保険料第二期の納付月です。忘れずに納期内に納付しましょう。

どうしても納めることができないときは、必ず七月末日までに免除の申請をして下さい。

六月定例村議会終る

西野小・西山小に水泳プール
鮫川小に屋内運動場建設

六月一二日定例村議会が招集され、村税条例の改正条例など七議案が提案され、慎重審議のうえ、それぞれ原案どおり可決されました。

主な内容は次のとおりです。

○村税条例の一部改正条例
法人村民税の税率の引上げや、小規模住宅用地の減税などの改正と、条文の整理が行われました。

○国民健康保険税の税率改正は、所得割二・〇二%が一・八四%に、資産割三〇・四二%が三二・七七%に、均等割一、九一二円が二、四七〇円に、世帯平等割四、一六一円が五、一九〇円に改められました。
保険税は、医療費や受診率の向上で前年に比べ約二二・七%程の増となります。

○職員の給与条例の一部改正条例
人事院の勧告に基づく給与改正で国、県の職員に準じて改正されました。

○西野小学校、西山小学校の水泳プール建設工事請負者は、いわき市、常盤コンクリート工業株式会社と議決されました。

○一般会計補正予算では鮫川小学校の屋内運動場建設工事費が補正され、特別会計では診療所会計の給与費の一部が補正されました。

○固定資産評価審査委員選任
渡瀬の遠藤慎一郎さんが選任に同意されました。

一般質問

一般質問は、中川西好幸議員と関根勝義議員の二名で、それぞれ村長や担当課長の答弁がありました。

くわしいことは、役場住民課におたずね下さい。

愛の血液 無料で輸血をうけられます

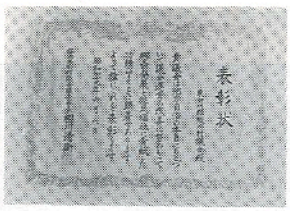
これまでは、手術などのとき、保存血液を使用した場合、その価格の三割が自己負担となっていましたが、今年度からは献血した方の善意に報いるため、血液代金は全額無料となりました。

ただし、取扱い上は一応三割の自己負担を支払い、病院等で発行する輸血証明書を添付して、福島県赤十字血液センターに申請すれば、自己負担分が助成されることになります。

なお今年から、白河市昭和町の福島薬局白河出張所が県の委託により保存血液の取扱店に指定されています。

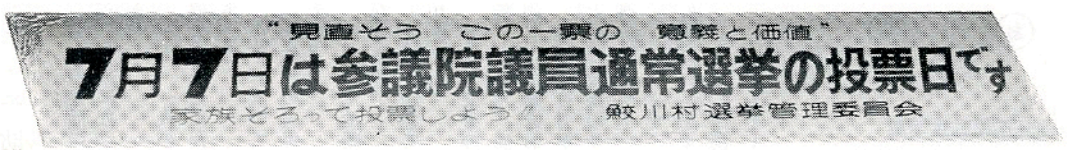
くわしいことは、役場住民課におたずね下さい。

鮫川村議会が受賞



去る6月6日県議長大会の席上鮫川村議会は優良議会として県議長会長から名誉ある表彰をうけました。この光栄に浴したのは川俣町議会と鮫川村議会だけで、わが村の誇りでもあります。

また同じ席上、船木操議員が11年以上在職者として栄光ある表彰をうけられました。



今回の選挙はわたしたちの声を国政に反映させる大事な選挙です。参議院のもつ重要性を十分理解し、参議院議員にふさわしい立派な人を選ぶため、みんなそろって必ず投票しましょう

◆ 投票日に投票所に行って投票できない人のために、不在者投票の制度があります。

不在者投票のできる人は次の人々です。

一、投票日（七月七日）に村外において仕事に従事する人（出稼者など）

二、やむを得ない用務で旅行中の人

三、病気や怪我或はお産などで投票日に投票所に来られない見込みの人

これらの人は、七月六日まで毎日午前八時三十分から午後五時まで本人がお出になれば、役場内の不在者投票所で投票ができます。該当者は是非不在者投票を利用しましょう。

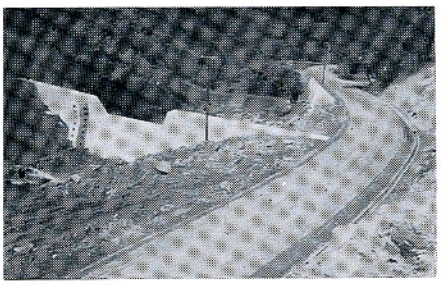
◆ 投票日の投票できる時間は、午前七時から午後七時までですから、当日は日曜ですがお勤めの人は朝か夕方どちらかの時間に是非投票しましょう。

◆ 出稼者のいる留守家族の方は手紙又は電話で七月七日には是非帰宅して投票するように、或は七月七日に帰宅できない人は、その前に是非一度帰宅して不在者投票をするように、出稼者に連絡しましょう。

◆ 投票率の高いことは、住民の政治に関する意識が高いことをあらわす尺度になり、今後の行政面にいろいろ影響しますから隣近所みんな声をかけ合って必ず投票しましょう。

◆ 村では、行政区別投票率コンクールを実施することにしました上位投票率の区には報償金が交付されるので、区民こぞって投票率の向上に協力しましょう。

!! 一票の自覚がひらく よい未来 !!



内ケ竜地内に防災ダム建設工事が県営で行われ県道が工事中は交通止めになり、皆様に大変ご迷惑をおかけしました。

このたび写真のように立派に完成し、今後災害防止に大きな役割を果すことになりました。



昭和49年度社会学級は、92名の入級者を迎え、5月30日村公民館で開講式が行われました。当日は芳賀公民館長のあいさつ、入級許可生徒の点呼があつた後、石田村長の講演がありました。

村の社会学級は、年間事業計画により、健康管理、教養、奉仕活動、レクリエーション等老後のゆたかな生き方を考え、生活のよろこびを知つてもらうおと、毎年開講されております。

進んで受けよう
―健康診断―

六月一三日に村では子宮ガン検診を実施しましたが、昨年の三倍の、二二五名の受検者がありました。このように年々受診率が高まつてきたことは、住民の方々の健康管理の認識が高まつてきた表われです。

自分が気づかないうちに、徐々に進行してくる成人病、症状を自覚したときはすでに現代医学をもつても、手のほどこしようがない状態になつていることが多いのです。

先ず健康管理には早期発見、早期診療が大切です。それには定期的な検診による早期発見が何より肝要です。

成人病検診は二～三年に一回では、早期発見の意義がありません必ず年に一回の検診を受けて下さい。

今年は八月に成人病検診を実施する予定ですから、自分の健康を守るため、該当者は全員受検されるよう、お願いします。

（期日は追つて回覧でお知らせします）

◁◁◁◁◁◁◁
まむしに注意
▷▷▷▷▷▷▷
咬まれたら―まず医者へ

この頃の季節になると、まむしは田圃の周囲や平地の湿地にひそんでいます。よく除草作業や畑仕事などのときまむしに咬まれることがありますのでくれぐれもご注意下さい。

もし、まむしに咬まれたときは毒が体内に回らないよう手拭か包帯で傷口の近くを強くしばり、救急車等を利用して、速やかに医師の手当をうけることが必要です。

今年から血清剤（抗毒素）は、白河市本町のワタナベ薬局に委託保存しておくことになつていますのでお知らせします。

救急車の連絡は一一九番です。

火事を消す消防から
予防の消防へ

毎日の生活の中で「火の用心」が、粗放になつていないでしょうか？

一人、一人の「火の用心」が、他人まかせになつていないでしょうか？

今年に入つてから、今日までに「七件」の火災が、発生しております。

一寸した油断から思わぬ火災となります。

火災が起きてからでは何にもなりません。

もう一度身の囲りの火気取扱場所、火の元、油類の安全に対する細心の注意をお願いします。

なお、今月から毎月十五日午後六時の役場のサイレンと同時に、消防署のサイレンも吹鳴試験を行ないますので、火災とまちがわない様お願いします。

白河消防鮫川出張所

福島県移動生活車
しあわせ号来村

消費生活上の商品を選択するのに、必要な知識と無駄のない生活の向上をはかるため、村婦人団体連絡協議会の主催により下記の日程で来村されますからお誘いあわせの上多数参加されますようお知らせいたします。

巡回の日時　7月2日（火）
午前10時～
正午まで

場　所　鮫川村公民館

講義内容　1.一般加工食品の選び方、買い方
2.冷凍食品の知識

☆駐在所
こちら駐在所

◉梅雨どきの安全運転

梅雨シーズンは年のうちでも交通事故の起きやすい時期です。

事故の原因と、注意しなければならないことは次のとおりです。

○スピードは常にひかえ目に
○車間距離を十分に
○車の点検整備の励行

◉運転免許の申請受付

毎月三、四、五日の三日間
（日曜祭日にあたるときはくり下げとなります。）

◉農薬事故をなくそう

農薬についての知識がたりなかつたり、ルーズな保管や取り扱いから、中毒にかかつたり、自殺に用いられたりするなどの事故が多くなります。慎重な取り扱いによつて、悲しい事故のないよう十分注意しましょう。